第2期データヘルス計画の実施状況評価

<table>
<tr><th colspan="2">評価指標</th><th>現状分析(主に令和元年度状況で分析)</th><th>評価</th><th>今後の方向性</th></tr>
<tr><td>ストラクチャー
（保健事業実施のための体制・システムを整えているか）</td><td>○事業の運営状況を定期的に管理できる体制を整備しているか（予算等も含む）
○保健指導実施のための専門職の配置
○KDB活用環境の確保</td><td>【R2年度体制】
市民課　国保医療係　　保健師2名（うち1名会計年度任用職員）
　　後期高齢年金係　保健師1名
健康増進課　健康増進係　保健師3名　管理栄養士1名

地区担当保健師の定例会開催
KDBシステムは各課に配置し活用している</td><td>a</td><td rowspan="4">特定健診受診率、特定保健指導の実施率などの目標達成および、実績の向上を目指して引き続き、関係各課との連携を図りながら、取り組みを行っていく。

今後も、毎年度、事業評価を実施し、事業の見直しと改善を図り、目標達成に繋げていく。</td></tr>
<tr><td>プロセス
（保健事業の実施過程）</td><td>○保健指導等の手順・教材はそろっているか
○必要なデータは入手できているか
○スケジュールどおり行われているか</td><td>○KDBシステム、マルチマーカー、あなみツール等対象者の抽出や、分析に関するシステムの使用環境は整っており、必要なデータの入手もできている
糖尿病管理台帳の整備
特定健診受診状況、特定保健指導実施率、未受診者対策実施状況について、対象者名簿を作成し、担当者で随時進捗管理を実施</td><td>a</td></tr>
<tr><td>アウトプット
（保健事業の実施量）</td><td>○特定健診受診率、特定保健指導実施率
○計画した保健事業を実施したか
○保健指導実施数、受診勧奨実施数など</td><td>特定健診受診率41.2%（H28年比5.1%増）
特定保健指導実施率　41.1%（H28年比19.1%減）
集団健診後の結果説明会を予約制で実施来場者　768人
（うち重症化予防の保健指導　263人）
糖尿病相談会2回実施　利用者7人
糖尿病性腎症重症化予防プログラム対象者を抽出し、未治療者・治療中断者への医療機関受診勧奨とコントロール不良者の医療と連携した保健指導の実施
個別健診、人間ドック、毎日健診受診者の保健指導は地区担当者で随時実施
糖尿病相談会2回実施
未受診者訪問　1,807件　訪問被勧奨者の受診率26.1%
はがきによる受診勧奨　3回</td><td>b</td></tr>
<tr><td>アウトカム
（成果）</td><td>○設定した目標に達することができたか
（医療費、生活習慣病有病者の変化など）</td><td>総医療費は年々増加傾向にある。また、1人当たりの医療費も増加している
人工透析における患者数および医療費の増加
健診結果では、高血糖、メタボリックシンドローム予備軍・該当者の増加</td><td>c</td></tr>
</table>

※「評価」についてはa：改善（達成）している／b：変わらない／c：未達成（悪化している）／d：評価困難 で判定